

今年も元旦から元気に活動スタート

今年も、元旦に、大和田堀崎生活相談所で「2024年新春出発式」を行いました。

この出発式に参加した「とばめぐみ」市議は決意表明の後、大宮駅前で行われた「新春宣伝」にも駆けつけました。

大宮駅東口こりす前では、伊藤岳、塩川鉄也、梅村さえこ、いわぶち友の各氏も参加して、新年のあいさつを行いました。司会は、とばめぐみ市議。



(写真上) 相談所前で出発式に勢ぞろい
(中) 宣伝カーで出発するとば市議
(下) 大宮駅東口で新年の街頭演説

俳句

紙の雪降って華やか初芝居 ひとり
寝正月スマホ鳴る鳴る能登地震 弥生
元日や荒れ狂ふ能登震へをり 由子
「ひとりかい」問うてきそうな冬木立 悦子
北風に電車の音の飛んで消え キヨ子
卒路とて悔い無く行かん今朝の春 瓢子
冬ざれのグラウンドにボールただひとつ 遍子
はつ嚏はつ屁はつ洒落はつ笑ひ 麦緒



次回句会は 2月13日(火) 13時半から生活相談所で
*各自2句持寄り
*投句・選句・見学のみなさん大歓迎

能登半島地震災害募金にご協力ください

募金は、下記で受け付けています。
【郵便振替】口座番号 00170-9-140321
加入者氏名 日本共産党災害募金係
*通信欄に「能登半島地震募金」とご記入ください。手数料はご負担願います

『山』交差点 歩車分離信号機設置実現

とばめぐみ市議



2021年夏、『山』の地域の小学生の保護者から通学路の山の交差点(厚生病院の近く)について相談が寄せられました。

三叉路の交差点に横断歩道と信号がありますが、子どもが横断するときに右折、左折の車と重なり、車が曲がれば子どもが渡れない、子どもが渡れば車が曲がれない。道幅もあり子どもが青のうちにはわたり切れないとのこと。毎朝自治会長さんが交差点に出て子どもを渡らせてくれていました。

早速大宮東警察に来てもらい



2021年夏、『山』の地域の小学生の保護者から通学路の山の交差点(厚生病院の近く)について相談が寄せられました。

三叉路の交差点に横断歩道と信号がありますが、子どもが横断するときに右折、左折の車と重なり、車が曲がれば子どもが渡れない、子どもが渡れば車が曲がれない。道幅もあり子どもが青のうちにはわたり切れないとのこと。毎朝自治会長さんが交差点に出て子どもを渡らせてくれていました。

早速大宮東警察に来てもらい

保護者や自治会長さんと話し合いました。警察は「どんな対策ができるか検討する」と。

そして2年半たった23年12月20日、山の交差点に『手押し式歩車分離信号』が設置されました。手押し式ですから歩行者がいるときだけ「歩車分離信号」になります。歩行者が渡っているときに車が曲がってくることはなくなりました。ここには片柳小学校の交通指導員も付きました。危険だった『山』の三叉路、通学時間の心配が解消されました。

この要望案件は、直接、大和田・堀崎・島の地元のものではありませんが、私たちの回りに目を向けて、気づいたことから声をあげ、安心安全の地域づくりの参考にしたいと掲載させていただきました。

シネマ倶楽部上映会

『蒲田行進曲』



とき 2月14日(水)午後1時半
会場 社会福祉協議会ホール
(北口大和田店の向い側)

80年代を代表する大ヒット作
若い松坂慶子・風間杜夫・平田満たちが笑いと涙でつづる熱く哀しいカッドウ屋魂!

2024年見沼区党と後援会新春のつどい

とき:2月12日(月・休日)14:00~
ところ:七里コミュニティセンター1F多目的ホール

- 第1部 とばめぐみ市議員「市政報告」
- 塩川 鉄也衆院議員「国会報告」
- 第2部 嘶家 橋家扇三さん「落語」

【参加費無料】

【日本共産党 ぐらしの何でも相談】

(ぐらし・教育・福祉・税金・道路など)

■ 2月の相談日は(毎週火曜・午後2~4時)
6・13・20・27日

◎連絡お問い合わせは
⇒(829)1811《市議団》
又は(684)9555《相談所》

◎法律相談は別の日です。事前に市議団にご連絡を



真ん中

発行:大和田日本共産党後援会
 連絡先:日本共産党生活相談所
 見沼区大和田町2-1347-4
 TEL・FAX 048(684)9555
 E-mail:hiroyumi75@yahoo.co.jp
 年間購読料200円[部内資料]

自民党政治を終わらせて 希望ある新しい日本を

日本共産党第29回大会



大会の最後に、舞台上に並ぶ新しく選出された役員

大会で選出された主な新役員

- 中央委員会議長 **志位和夫**氏(新)
- 幹部会委員長 **田村智子**氏(新)
- 書記局長 **小池晃**氏(再)
- 筆頭副委員長 **山下芳生**氏(再)
- 書記局長代行 **田中悠**氏(新)
- 政策委員長 **山添拓**氏(新)

田村智子新委員長の抱負と決意

日本共産党第29回大会が、4年ぶりに開催されました。

この大会で、志位和夫氏に代わり新しく幹部会委員長に選出された田村智子氏は18日夕、TBSスタジオ「荻上チキ・Session」に出演し、



就任後初めてメディアで今後の抱負など

を語りました。

田村氏は「歴史的に紡いできたものを受け継ぎながら、党の新たな発展のために力を尽くしていきたい」「国政の分野で日本共産党の代表を担うことになる。自民党政治が今、ここまで腐って、行き詰まっているところだから、国民に対し、日本共産党の政策には希望があるということを実際に、具体的に伝えたい」「日本社会のジェンダーギャッ

プが依然大きく、日本共産党初の女性委員長への就任は、党として、ジェンダー平等を一步ずつ進めていくことを示すことになった」「日本社会のジェンダーギャップをなくしていくことと、党の会議のあり方を含め、女性も参加できるような活動の改革は両面で行っていく必要がある」「政治資金のあり方として、腐敗の温床となっているのが企業・団体献金だ。全面的禁止を国民の世論を背景に実現したい」と語りました。

『おめでとーいお正月』と言えないお正月

元旦。いつも通り大和田堀崎生活相談所に集まって、2024年を「賃金をあげ消費税を引き下げて物価高騰から国民を守るまともな政治に変える年にしよう」と決意を共有し、大宮駅で国会議員や総選挙予定候補者と一緒に2024年最初の街頭演説を行いました。午後4時にお正月気分は吹っ飛びました。

日本共産党はその日のうちに国会議員団で対策チームを立ち上げ翌日にはオンラインで被災地の様子を聞き、募金を開始しました。政府より早く動き出した日本共産党。大規模災害が何度も繰り返されてきた地震列島日本で、大地震が起きたらどうなるかはさ

んざん学習してきたはず。避難所に何が必要かも学習してきたはず。被災地では防災機能ごと壊滅状態になります。陸路も立たれてしまします。かつて防災予算は防衛予算を上回っていましたが今は反対です。23年度は約1兆6千億円で、22年度の約3兆円の半分程度にまで削減されました。



能登半島地震災害募金訴え7日ロジャース前、梅村さえこ衆院候補ととば市議。



12日東大宮駅。

本流

スペインの左派連合政権

1月12日、スペイン政府は、最低賃金を5%引上げ、月額132ユーロ(約21万円)とすることで労働組合と合意したそうです。2018年に右派・国民党から左派政権に交代して以降、引き上げ幅は54%に達しました(1月14日付「赤旗」)▼最低賃金の引き上げについては、労働組合、使用者側、政府の3間協議が行われ、全国2大労組(労働者委員会・CCOO、労働総同盟・UGT)は5%を要求、使用者団体側は3%を提示していました。政府が3者合意をめざして4%を提示したのに対して、使用者側が拒否したため、政府は「より野心的な案」として5%の引き上げを決断し、労組側と合意しました▼これを主導した政党連合「スマール」のディアス労働相は女性です。スペインでは、昨年11月、中道左派・社会労働党と左派連合スマールによる連立政権が誕生、労働者に寄り添った政策を進めてきました▼最低賃金を月額で決めているのも注目です。約21万円の月額最低賃金は、時給換算で約1400円になります。労働者は1か月の収入で生活を考えられますから、月額で設定することで、最低賃金の水準が分かりやすくなります▼左派連合政権のこうした動きには、注目していいでしょう(S)